

令和7年10月における市内小・中学校の事故等の報告について

○ 定例教育委員会で報告する基準

次の事故・事件等について発生した場合は、教育委員会に報告する。

- ① 事故では、特に首から上の怪我、骨折や縫合のあった怪我等、医療機関において処置された案件
- ② 事件・問題行動では、指導室として特に今後の動向が危惧される案件

<小学校> 事故等1件

発生日	発生場所	管理	学年	事故等の概要
① 10/30 (木)	体育館	下	5	【右鎖骨骨折】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該児童は、体育の授業中、跳び箱で開脚跳びの練習を行っていた。 ・当該児童は、跳び箱に着手した際に手が滑り、体勢を崩して右肩からマットの上に落ちた。 ・当該児童は、保健室での応急処置後、病院で受診し、右鎖骨骨折の診断を受けた。

<中学校> 事故等1件

発生日	発生場所	管理	学年	事故等の概要
① 10/10 (金)	体育館	下	2	【腰椎分離】 <ul style="list-style-type: none"> ・当該生徒は、保健体育の授業中、跳び箱で台上前転の練習を行っていた。 ・当該生徒は、台上前転した後、両足からマットに着地する際に失敗し、臀部から着地した。 ・当該生徒は、保健室での応急処置後、病院で受診し、腰の捻挫及び肉離れの診断を受けたが、痛みが引かないため4日後に再度受診したところ、腰椎分離の診断を受けた。